

スワレ通信

Support Office for Female Researchers

第3回 信州大学男女共同参画シンポジウムを開催しました。

平成24年11月12日(月)、松本キャンパス旭会館3階SUNS大会議室において、第3回信州大学男女共同参画シンポジウムを開催しました。主会場とネットワークシステムで結んだ4会場(長野(教育)キャンパス、長野(工学)キャンパス、上田キャンパス、南箕輪キャンパス)の教職員、学生、男女共同参画に係わる行政担当者のご出席をいただき、合わせて116名が参加しました。

信州大学の男女共同参画の推進を図るため、平成20年度から同22年度に文部科学省科学技術振興調整費 旧女性研究者支援モデル育成事業に採択された、東京工業大学と静岡大学から講師をお迎えしました。東京工業大学理事・副学長・男女共同参画推進センター長の岡田清氏からは「理工系女性研究者のプロモーションプログラムを振り返って」をテーマに、静岡大学副学長・男女共同参画推進室長の船橋恵子氏からは「女性研究者支援から男女共同参画へ～持続可能な地方大学モデル～」をテーマに、事例報告をいただきました。

パネルディスカッションでは、松岡英子女性研究者支援室長の進行により、「信州大学の男女共同参画をどう進めるか!」を

「女性研究者支援から男女共同参画へ～持続可能な地方大学モデル～」

「理工系女性研究者のプロモーションプログラムを振り返って」



船橋 恵子 氏
静岡大学 副学長
男女共同参画推進室長



岡田 清 氏
東京工業大学 理事・副学長
男女共同参画推進センター長

テーマに、ディスカッションが行われました。パネリストは、石田桂准教授(理学部地質科学科)、富永晃一准教授(経済学部経済システム法学科)、萩原均総務部長、江田慧子研究員(山岳科学総合研究所)、アドバイザーとして、講師のお2人にもご登場いただき、会場の参加者を含めた討論が行われました。

パネルディスカッション

テーマ 「信州大学の男女共同参画をどう進めるか!」

パネリストの皆さん



石田 桂 准教授
理学部地質科学科



萩原 均 総務部長



富永 晃一 准教授
経済学部経済システム法学科



江田 慧子 研究員
山岳科学総合研究所



※シンポジウムの詳細は、「第3回男女共同参画シンポジウム開催報告」に掲載します。

女性研究者支援室の“メンター制度”のご案内

女性研究者支援室では、女性研究者・女子大学院生のための「相談窓口」を開設し、メンター制度を実施します。メンタリングでは、経験豊かな本学教員がメンターとして、ライブイベントと研究活動を両立するうえで抱える問題などの相談に乗り、女性研究者のキャリア発達の支援や仕事と生活の調和を可能なもののできるよう応援します。メンター制度の詳細は、「メンタリングのご案内」をご覧ください。

“メンター教員”を募集しています。

メンターは、女性教員・男性教員ともに募集しています。信州大学の若手女性研究者育成にご協力いただける方のご応募をお待ちしています。

本制度は文部科学省科学技術人材育成費補助事業「女性研究者研究活動支援事業」の一環であることから、当面、メンティは、若手および新任の女性研究者・女子大学院生を対象として実施いたします。

メンタリングの手順

- | | | |
|--------|---------------------|---|
| Step 1 | メンタリングの理解 | ●メンタリングの支援方法を理解し、把握する。
・メンター研修会(3回)を受講
(e-learningALPS 教職員サイトで視聴可能) |
| Step 2 | 登録をする | ●メンター登録をする。
・登録用紙を記入し女性研究者支援室に提出
(登録用紙は、女性研究者支援室より送付します。)
・信州大学長から委嘱を受ける |
| Step 3 | マッチング | ●メンタリングを希望する女性研究者・女子大学院生の相談に乗る。
・女性研究者支援室からの依頼を受ける |
| Step 4 | メンタリングを始める | ●計画に沿って支援活動を実践する。
・メンタリングのワークシートに記入 |
| Step 5 | メンタリング効果の確認・実施報告をする | ●メンタリングをさらに活かすためにフィードバックする。
・メンタリング終了後、ワークシートを提出 |



お問い合わせ
 信州大学 女性研究者支援室(SuFRE)
 長野分室(教育学部内)
 TEL: 026-238-4048
 E-mail: sufre@shinshu-u.ac.jp
 HP: <http://www.shinshu-u.ac.jp/danjo/sufre/>

みなさまのご理解とご協力をお願い申し上げます。



12月27日発行
メンタリングのご案内

文部科学省科学技術人材育成費補助事業 女性研究者研究活動支援事業 合同シンポジウム参加報告

平成24年11月20日(火)独立行政法人 科学技術振興機構 東京本部において、文部科学省主催の「女性研究者研究活動支援事業 合同シンポジウム」が開催され、松岡英子女性研究者支援室長とコーディネーター1名が参加しました。

シンポジウムは、「成果の検証と課題解決のための模索」をテーマに、ポスター発表・分科会・パネルディスカッションがありました。

分科会では、これまで事業採択された71機関が6グループに分かれ、各大学の成果を検証し、これまでに得られた解決策・課題、今後の新たな方策等が話し合われました。

パネルディスカッションでは、パネラーの、郷通子氏(大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 理事)、小館香椎子氏(独立行政法人科学技術振興機構 経営企画部 男女共同参画主監)、後藤俊夫氏(中部大学副学長)、渡辺美代子氏(榊東芝 イノベーション推進本部 参事)、板倉周一郎氏(文部科学省 科学技術・学術政策局 基盤政策課長)、モデレーターの山村康子氏(独立行政法人科学技術振興機構 科学技術システム改革事業プログラム 主管)より、各大学への取り組みについて、熱のこもった討議が行われました。



本学が発表したポスター
スプレッドHPでご覧いただくことができます。



研究補助者の学生にインタビュー

大学院教育学研究科学校教育専攻
臨床心理学専修2年
手塚千佳さん

本学教員のライブイベント期間中の研究活動を補助する、“研究補助者制度”の研究補助を経験した手塚千佳さん(平成23年12月から平成24年9月まで実施)に、感想を伺いました。

Q. 研究補助をするようになったきっかけは?

研究指導の先生から、研究補助者のお話をいただきました。先生の研究に興味があったのでぜひやりたいと思いました。女性研究者支援事業については先生から説明があり、その時に女性研究者支援室のことを知りました。

Q. どんな研究補助を行っていましたか?

先生の研究では、日常生活において困っていることがある学生を支援するワークショップをいくつか行っていて、私はその中の、「時間の使い方」についてのワークショップを担当させていただきました。臨床的な研究に係ることができよかったと思います。

Q. 自身の研究に活かされたことは?

将来の自分の仕事に関係する内容でもあり、学ぶことが多くありました。また、学会発表という貴重な経験をさせていただきました。先生からは、主に学生の私たちが発表をするよう指導していただき、参加者からの質問に対応する機会がありました。他の人の考え方など聴くことができ、たいへん勉強になったと思います。学会発表は初めての経験だったので、研究補助者をするこゝでこのような経験ができてよかったと思います。

平成25年度(4月~9月期) 信州大学研究補助者制度の 利用者募集を開始します。

詳細な情報・必要書類については、1月中旬以降に以下のURLから取得いただけます。
(<http://www.shinshu-u.ac.jp/danjo/>)

研究補助者制度とは

本学の女性研究者が出産、子育てや介護などと研究活動を両立できるよう、また配偶者が大学などの研究者である本学の男性研究者がワーク・ライフ・バランスを保ちながら研究活動ができるよう研究補助者による支援が受けられるものです。

次回も研究補助者のインタビューを掲載します。
お楽しみに。



～若手女性研究者の会～ メンバーを募集しています！

「若手女性研究者の会」は、今年の4月、理学部・工学部・農学部
の女子大学院生で立ちあげた有志の会です。信州大学に在籍してい
る女子大学院生が、充実した学生生活を送り、将来の“研究者”を目
指せるように、環境を整える等の活動をしています。

現在、月1回の定例会を計画し、学部を超えて、研究発表・情報
交換・近況報告を行っています。

研究が好き、その魅力を伝えたい、自分自身を成長させたいという方は、
ぜひ参加してみたいかがですか。



対象は、信州大学に在籍している女子大学院生です。
(学部生に関しては、適宜対応していきますのでご相談ください。)

若手女性研究者の会

代表：信州大学山岳科学総合研究所 研究員 江田慧子

E-mail : kkeiko12@shinshu-u.ac.jp

「若手女性研究者の会」の

大学院農学研究科食料生産科学専攻1年 尾崎絵理さんが

第24回日本環境動物昆虫学会年次大会で 優秀講演発表賞を受賞しました！

平成24年11月17・18日、名古屋
大学で開催された第24回日本環境
動物昆虫学会年次大会において、農
学部附属アルプス圏フィールド科学
教育研究センターの中村寛志教授の
日本環境動物昆虫学会賞の受賞と
ともに、尾崎絵理さんが、優秀講演
発表賞(口頭発表部門)を受賞しました。



尾崎 絵理さん

発表題目は「絶滅危惧種ミヤマシジミの休眠卵・非休眠卵の産み分けに関する研究」であり、夏に発生するミヤマシジミ成虫は非休眠卵を産むが、秋の成虫はそのまま越冬する休眠卵を産卵する。この産み分けを決定する日長条件とその感受期を実験的に明らかにした内容です。30歳以下の若手研究者の中からただ一人の受賞となりました。

◆受賞対象となった研究発表は以下の通りです。

「絶滅危惧種ミヤマシジミの休眠卵・非休眠卵の産み分けに関する研究」

尾崎 絵理(農学部附属アルプス圏フィールド科学教育研究センター)
江田 慧子(山岳科学総合研究所)
中村 寛志(農学部附属アルプス圏フィールド科学教育研究センター)

大学入試センター試験における 一時保育を実施します。

平成25年度大学入試センター試験の業務に従事する教職員の
ために、松本キャンパスと長野(教育)キャンパスの2カ所で、お
子様をお預かりする一時保育を、試行的に実施します。

詳細は、こちらからご覧いただけます。

<http://www.shinshu-u.ac.jp/danjo/>



開催レポート(報告)

キャリアサポートセンター主催
男女共同参画推進委員会共催セミナー

『社会に出てそれからの話～働く女性の体験談～』

10月24日(水)松本キャンパスにおいて、女子学生を対象とし
たセミナーが行われました。

企業・団体から4名の働く女性に、就職・結婚・出産・育児と
仕事の両立について、貴重な体験をお話いただきました。

参加した学生からは「自分の将来を考える良い機会になりました。」「ぜひ多くの人に参加するべきだと感じました。」「知らなかったことばかりだった。このような機会をもっと増やしてほしい。」等の感想があり、積極的に質問が交わされ、和やかな雰囲気での座談会になりました。



セミナーの様子

お問い合わせ

信州大学 女性研究者支援室(SuFRe)

松本分室(総務部人事課内)
〒390-8621 松本市旭3-1-1
TEL 0263-37-2167
FAX 0263-37-3314
内線 811-2127

長野分室(教育学部内)
〒380-8544
長野市西長野6-口
TEL/FAX 026-238-4048
内線 831-4048

E-mail: sufre@shinshu-u.ac.jp
HP: <http://www.shinshu-u.ac.jp/danjo/sufre/>

開室時間
9:00～17:00(月～金)



長野分室(教育学部内)案内図

